学校番号	３０１

令和２年度　芸術科（美術）

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「美術２」　（光村図書出版）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

多様な表現様式による絵画表現に関する学習を通して、豊かな表現力と鑑賞の能力を高める。また、石などの材料による彫刻など立体造形の表現に関する学習を通して、空間と立体感の認識とともに素材の材質感を理解し、創造的に表現する。美術展鑑賞から感性と美意識を深め、鑑賞の能力を豊かにする。

２　学習の到達目標

美術に関する専門的な学習を通して、美術体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を磨き、創造的な表現を鑑賞の能力を伸ばし、美術文化の発展と創造に寄与する態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の楽しき・喜びを感受し、多様な表現や美術文化に関心を持ち、思考し、主体的に個性を重んじ、表現や鑑賞に取り組もうとする。	個人としての感性や想像力を働かせて、感受し、思考したこと、目的や機能を生成し、創造的で個性的な表現の構成を練っている。	多様で創造的な美術表現を豊かにするために必要な技術を身につけ、意図に応じて表現法方を考え、工夫している。	作品や作者の個性などに関心を持ち、発想や構想の独自性、表現の工夫などについて、多様な視点から分析し、理解している。時代、民族、宗教などによる表現の相違や共通点を考察し、美術文化の理解を深めている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動	ワークシート アイデアスケッチ 製作途中の作品 完成作品	製作途中の作品 完成作品	発言内容 ワークシート レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	シュールリアリズム表現をパネルに描く	【絵画】【鑑賞】 ・シュールリアリズムの絵画を鑑賞し、個性的で、豊かな表現方法を学ぶ。 ・パネル張りをし、アクリル絵の具を使用し、写実的かつ想像力あふれる表現を学ぶ。 ・表現内容として自己を分析し、想像力と個性を生かして空想的な非現実的な世界を表現し、制作する。	○	○	○	○	a:シュールレアリズムの思考、表現に関心を持ち、主体的に取り組もうとする。 b:個人的に自己を分析し、個性的に想像し、内容および創造的な表現の構成を練っている。 c:個人の表現に合致した方法、技術を考え、個性的に創造的に表現している。 d:シュールリアリズムの作品を作家、歴史的に表現の相違や共通性などを考え、理解している。	ワークシート 学習態度 製作途中の作品 完成作品
二学期	美術館鑑賞レポート	【鑑賞】【デザイン】 美術展を選択し、各自展覧会を鑑賞する。作家、表現方法、技法などともに歴史、民族、宗教による表現の相違と共通性をデザイン的に構成し、レポートを制作する。			○	○	c:美術展の内容、作品などを印刷物やスケッチなどを使い、わかりやすいようにレイアウトし、レポートに仕上げ、全体の構成を考えて、個性的に表現する。 d:鑑賞した展覧会の内容を時代、作家、表現法方、技法などを分析し、美術文化の理解を深めている。	レポート
二学期	石材の彫刻	【彫刻】 ・アイデアスケッチ ・アイデアを基に三面図を描く ・制作 彫刻刀で彫る サンドペーパーで研磨 ・研磨剤で磨く	 ○ ○ 	 ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○		a:多様な彫刻作品を通して、彫刻、空間表現に興味を持ち、主体的に取り組もうとしている。 b:彫刻の空間、特性を踏まえ、形体と表現の構想を練っている。 c:素材の特性と用具の技術的な特性を生かし、工夫して表現している。作品を研磨し、美しく仕上げている。	ワークシート 制作の様子 作品

三学期	キュビズム絵画	【絵画】【鑑賞】 ・キュビズムの代表的な作品と作家について、検証し鑑賞する。 ・モチーフとして上半身を面取りで、横・斜め・正面と三方向からデッサンする。 ・多方向、多視点から描いたデッサンを構成し、合成する。	○	○ ○	○ ○	○	a：２０世紀における特徴的な絵画様式であるキュビズムに関心を持ち、その社会的背景と個性的な手法を表現に取り込もうとする。 b：モチーフの人体を観察し、その捕らえ方と表現方法と構図を考えている。 c：直線で描き、視点の違いで表現が変化することを考え、各デッサンを合成する際のモチーフの動きを捉え、構成を工夫している。 d：キュビズムの概念を理解し、そのよさと美を深く味わっている。	ワークシート デッサン 作品
三学期	現代美術の表現	【絵画】【鑑賞】 ・多様な現代の美術作品を鑑賞し、その多彩な表現と自由な技法を鑑賞する ・鑑賞を基に個性的で自由な発想で表現 ・発想の転換、多様な思考と表現で制作	○	○	○	○	a：現代の多彩で豊かな表現を分析し、そのよさと美を深く考え、表現に取り込もうとする。 b：感性や想像力を働かせて、感じ、機能やそれぞれの目的を思考し、個性的な表現を練っている。 c：個性と感性を生かした作品表現とそれに似合う技法で制作している。 d：多岐にわたる美術作品の表現の概念や文化的背景を理解し、その創造性を味わい、より一層の文化理解を広めようとする。	ワークシート プレゼンテーション 作品

※　表中の観点について　a：美術への関心・意欲・態度　b：発想や構想の能力
c：創造的な技能　d：鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。